

全国大学反戦ストへ!

全学連(斎藤郁真委員長) 書記局通信

2015年11月16日

No.340

Tel 03-3651-4861

mail_cn001@zengakuren.jp

<http://www.zengakuren.jp/>

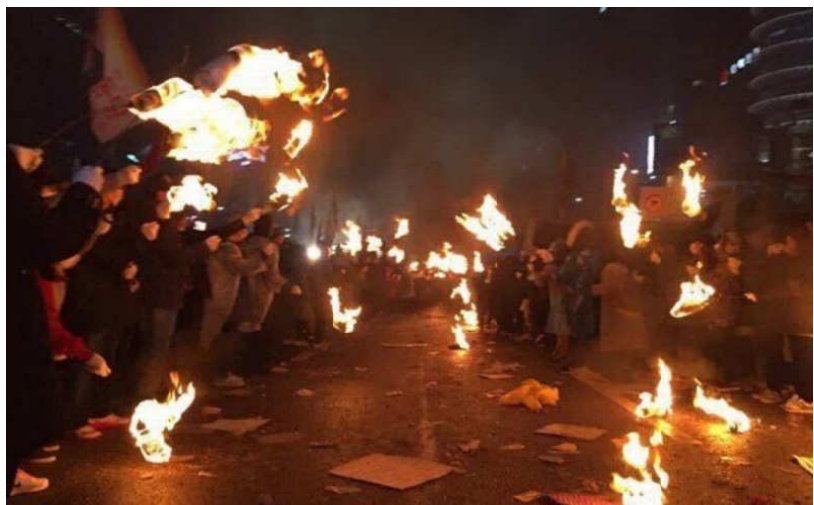
11・14韓国 民衆総決起が大爆発!



11月14日、韓国で労働者大会—民衆総決起闘争が10万人の大結集で打ち抜かれた。機動隊が催涙液入り放水を乱射する中、7時間にわたってソウル中心部で実力闘争を叩きつけ、全学連と動労千葉訪韓団100名も結集し共に闘いぬいた。



スクラムを組んで機動隊と激突!



11・14民衆総決起写真報告



当局・警察による京大同学会の看板撤去弾劾！

11月14日、京大当局と警察権力が一体で、京大同学会の立て看板を白昼堂々と強奪していった。京大当局はHP上でバリストを「違法行為」などと言い、同学会への弾圧を狙っている。

全国大学反戦ストの爆発で弾圧を粉碎しよう！



●京大同学会書記長・瀬瀬君の10・31国際連帯集会感想

国際連帯集会ということでやはり世界から来た労働者たちの力強さに圧倒された。韓国、ドイツ、トルコなどの労働者の発言は、現場で激しい弾圧に耐えながら組織拡大を行ってきた分だけでも力強く、迫力があつた。特に登壇した韓国労働者が折に触れて言う「トゥジェン！」の掛け声が、なぜか他の韓国労働者たちと息が合い会場にこだましたことは忘れられない。ほかにもビルマ民主化運動の活動家などが発言し、3労組はこんな人たちともつながっているのかとびっくりした。

日本国内の労働運動も進んでいるようで、群馬合同労組に加盟したタクシー運転手の組合の話が衝撃的だった。非正規から正社員になったものの過酷な労働環境は変わらず、業界では労働者が過労で死んでいくという現状に対して、動労千葉の存在をうっすらと知っていたがためにそこから学んで組合を作ったということ。闘う存在がいるということがどれだけこの世の希望となっているのかをつくづく感じた。自分自身が活動を始めてからようやく数年となるわけだが、その数年の間にも新しく決起する人も多いわけである。今までは集会で発言する人は自分にとってすべて古参の活動家であって一種の特別な人という感覚でとらえていたが、この集会でようやく特別な人でなくとも決起しうるのだなと実感できた。そんなことは自分がこんなことをやっていることでも気付いていたが、他人に関して初めて覚えた感覚だった。

集会後の交流会では特にトルコ、韓国の労働者と話をし、国際連帯を固めてきた。トルコの労働者に（通訳を介しながら）英語で京大ストライキの話をすると喜んでくれたということと、トルコでは学生運動が非常に激しく弾圧されるという話を聞いた。学生が反政府的な活動をするると懲役7年という。それから集会などで円形になって踊るトルコの伝統的な踊りをやっても‘Dance ideologically’と言われて弾圧されるという。ちょっと想像できない。そんな激しい弾圧の中でも学習会を中心に学生を水面下で組織しているという。物凄い執念だ。そのうえで王道はないということだろう。韓国の労働者についてはあまりにも言葉が理解できないのでときどき英語を交えながら勢いをもって交流した。しかし権力に対して闘うという共通基盤があるためにどこか理解できる。全体を通して、惜しむらくは英語をちゃんと勉強してこなかったことである。グローバル人材でなくても国際連帯のために英語は必須であると思つづくと思った。